



平成28年 1月19日 NO・92

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

原子力災害を想定した避難訓練実施

十八日(月)五校時目に原子力を想定した避難訓練を実施した。今回の避難訓練は、本来は校庭等で活動したり、遊んでいたりする時間帯に、「原子力関連の事故が発生する」ことを想定していた。しかし、昨日は天候不順のため、急きょ予定を変更し、校舎内のどこかで活動したり、遊んだりしているという状態で避難訓練を実施した。

『ただいまから、避難訓練を始めます。県内の原子力施設から放射性物質が大気中に漏れる事故が発生しました。直ちに自分の教室に戻り着席して指示を待ちなさい。』という校内放送で、訓練が始まると生徒たちは整然と静かに、自分の教室に移動する姿が見られた。教室に戻った生徒たちは、ほぼどの



クラスも物音をたてず、騒ぎ立てず、静かに担任が来るのを待つことができている。担任が、入室し全員の安全を確認して報告、という一連の流れが済んだ後、各クラス『中学生のための原子力とエネルギーブック』を活用し、原子力について学ぶ時間をとった。

- 放射能と放射線の違いについて
- 放射線の人体への影響について
- JCO臨界事故について

などの、基本的な知識を学んだ。『放射線の種類のうち、あるものは、カーテンを閉めるだけで多くをシャットアウトできる。』という知識を学んだ後には、生徒たちがカーテンを閉める姿が見られるなど、学んだ知識を行動化しようという意欲が感じられた。

逆境の中でこそ、その人の心が表れる



18日の天気は、大きく荒れました。東京のように雪こそ降りませんでしたが、激しく風が吹き、冷たい雨が降っていました。月曜日だったので朝練が無く、生徒たちの登校時間帯が、通常よりやや遅くなっていたことは、多少幸いでした。

昨日の状況を見ると、「車で登校した生徒」が217名。今までは、どんなに悪天候でも100名を越えることはなかったのに、それだけ異常なほど荒れた天気だったといえます。

自力で自転車や歩きで登校した生徒は、62名いました。その中には、写真のように登校後、自主的に挨拶運動に出る生徒がいました。(この生徒には、その気持を大いに褒め、今日だけは教師に任せるよう促して、教室に入ってもらいました。)

また、「ふれあい公園」から歩いてきた生徒たちの姿にも、感心したことがあります。『ほぼ、全ての生徒が、昇降口に入る前に傘に付いた雨粒をきちんと落としてから傘をたたみ、校舎に入っていく姿』がみられたことです。

「寒いし、激しく雨が降っているし、風が強い」このような状況では、少しでも早く温かな室内に入りたいと思って不思議ではありません。しかし、生徒たちは、「自分のため」というよりは、一緒

に過ごす仲間のために、校舎内に雨水を持ち込まない心遣いを見せていました。何気ないことかも知れませんが、「逆境でこそ、その人の心の在り方が表れるものだなあ」と感じました。

また、保護者様方の『常中魂』にも、感謝を申し上げたいと思います。

本校では、朝夕の通学・下校時間帯の送迎は、特別な事由(例えば、怪我をして歩行が困難など)が無い限り、校門付近の公道及び、校門内に車を入れての自分のお子様の送迎を、ご遠慮いただいています。

朝の忙しい時間帯です。送迎の駐車場として指定をさせていただいている『ふれあい公園駐車場』に回っていただくのは、『時間がかかる』『自分の子どもが濡れるのはかわいそう』等の理由で、避けたいところであることは、人情としてよく分かります。

しかし、自分のお子様というよりは、他の生徒たちを含めた多くの子どもたちの命を優先させるために、このような措置をとっております。

この趣旨を理解していただき、なんと94%の保護者の皆様に、ご協力いただき、ルール通りご不便をかけながらも、「ふれあい公園」に車をまわしていただきました。

保護者の皆様、ご理解とご協力に深く感謝しております。お陰様で、悪天候の中にもかかわらず事故は1件も起こりませんでした。心より御礼申し上げます。「ありがとうございました。」

何らかの理由で、ルールをご存じない保護者の方も数名おられるかもしれませんが、生徒たちに、「自分だけで無く、学校の全ての生徒の命を守るためにルールがある」ことを、指導させていただきました。送迎のルールについて不確かであるとお思いの保護様には、お子様を通じ、ルールの確認を再度お願いいたします。